

赤ちゃん誕生お祝い会

自治会副会長 高橋ひろみ

少子化が心配される昨今、地域の支援・見守りも大切な事と思われまふ。この姥ヶ山地区では概ね一年間で三〇〇四〇人位が「産声」をあげて、このお祝い会の対象者となっています。

コロナ前から始めたお祝い会事業は細くではありますが続いております。出席の返信を頂くのは十家族前後、当日の出席は七〇八組。赤ちゃんの体調が整わずどうしても欠席はあります。用意したプレゼントをお届けすることも仕方なし。お出でくださったご家族は他の方々との交流や保健師さんの話、自治会の話等々を聞いて少しの時間ですがのんびり楽しんで頂けているようです。また、お手伝いくださった役員も「赤ちゃん」に癒され半日を終えます。初回の赤ちゃん達も六歳になり、来年は新一年生となります。今年はお祭り・運動会等一緒に楽しめるのではと期待しています。



防災研修会

生活安全部長 清野庄一

先年度の生活安全部の活動といたしまして、今年二月十二日曜日に姥ヶ山自治会館にて、姥ヶ山自治会防災研修会を新潟市市民生活課の協力を頂き開催致しました。

コロナ感染対策に伴い人数制限をさせて頂き自治会役員及び各ブロック役員の方々限定で開催させて頂きました。コロナ禍により、制限なく皆様より参加頂けなかった事をとても残念に思っています。

研修会内容に付きましては新潟市市民生活課の講師、遠藤様よりお越し頂きまして、「犯罪のない安心、安全な街づくり」を題材とした講座をお話し頂きました。

新潟市の犯罪発生状況、防犯対策、特殊詐欺の現状など一番身近に起こり得る犯罪に関してのとても有意義な講座でした。

私達は日頃の生活の中で犯罪、災害、病気、交通災害、いろいろな被害に誰もが突然直面するかもしれません。ここ最近では高齢者の方の特殊詐欺被害が特に多く報じられています。この様な身近に起こり得る犯罪の防止策としては家族、本人、近所の方が他人事と思わず少しでも「犯罪に対して関心を持つ事が大切である」と講師の方もお話しされていました。

今後もしいろいろな講演、講座等を企画したいと思っています。



自治会クリーン作戦

環境部長 本間康夫

ゴールデンウィークも過ぎて田植えも終わり、吹く風が心地よく感じられる頃になってきますと、毎年恒例の自治会主催のクリーン作戦が開催されます。

今年度第一回目のクリーン作戦は、去る五月二十一日に実施いたしました。

新型コロナウイルスの分類が五類へと移行し、それに伴い感染対策が緩和され基本的には個人の判断でという事になったのを受けて、今回より参加者名簿作成の為の氏名記載メモ用紙の提出は不要とし、マスク着用も個人の判断でお願いする事にいたしました。

当日は百二十名という大勢の方々より参加して頂き、自治会役員を含めると百三十名でのクリーン作戦となりました。集合場所である姥ヶ山会館の会場ではマスク無しの方も多数おられ、朝の澄んだ空気が気持ちよく開放感を感じられました。

日曜日の早朝より参加頂いた自治会会員、江東園、自治会役員の皆様、大変有り難うございました。



参加者は総勢130名

町内一斉側溝清掃

衛生部長 小熊由紀夫

恒例の姥ヶ山自治会衛生部主催の行事・町内一斉側溝清掃は六月四日の日曜日、好天の下に行う事が出来ました。あまり好天でない方がいいかも知れないが。

五月からコロナウイルスが第五類になったと言っても終わったわけではないので、マスクをしたり、距離をとったりしての作業になりました。

近年では下水道の整備で汚泥は少なくなっていますが、なくなる事はありません。

側溝清掃は高齢者の多い班ではきつい作業ですが、若い人達の参加も見られ、良い傾向になっていました。

コロナ禍であっても大勢の方々の協力を頂いて、いい町内だと思えました。

次回こそはコロナ禍も終わって地元住民の交流の場になったらいいと思いますので、来年もご協力よろしくお願い致します。有難うございました。



地域防災の取り組みについて （防災倉庫の整備）

自治会長 阿部博一

姥ヶ山自治会では地域防災の取り組みとして、昨年度新型コロナウイルス感染症予防の観点から従来の防災訓練に代わり役員を対象とした防災研修を行いました。また、新潟市の主催で避難所運営についての講演会に基づき避難所である山潟小、山潟中においてそこを避難所としている自治会が集り避難所開設した際の役割分担についての話し合いを行いました。具体的なものはまだまだ決まりませんが、引き続き話し合いを続けることにしています。

姥ヶ山会館正面玄関前の自転車小屋兼物置小屋は老朽化が進み危険となつたため、防災倉庫として「新潟市防災資機材整備補助金」の制度を利用し、整備しました。



防災倉庫

